

Symposium:

東欧文学の 多言語的トポス

複数言語使用地域の
創作をめぐる求心力と進心力——

2018.10.6 SAT
AM 10:00 - PM 6:20
東京大学本郷キャンパス
法文1号館 113教室

主催：文部科学省新学術研究費助成事業・基盤研究「東欧文学の多言語的トポスからめぐる創作」(代表者：川口一)、片桐和也准教授
共催：東洋大東洋文化系多言語英語圏現代文学専攻研究会
問い合わせ：e-mail: asymposium@asianstudies.t.u-tokyo.ac.jp

Program:

10:00 - 10:15	開幕	10:15 - 10:30	通過するイメージ・概念・ことば ・フレンチロコモーションの復活 — ポーランド音楽を中心に— 片桐 和也(東大)
10:30 - 11:00	地図の形成 ・「ボヘミアにおける文學史の系譜」 関根 寛一(東大法文) ・「ボヘミアにおけるライケル文学史的記述」 三浦 明輔(法文) スメンターター：関根 寛一(東大法文)	11:00 - 11:15	「カントリーリスト運動における中庸イメージの述懐」 越野 勝也(スラブ・ヨーロピア研究センター)
11:00 - 11:15	地図の形成 ・「ボヘミアにおける文學史の系譜」 関根 寛一(東大法文) ・「ボヘミアにおけるライケル文学史的記述」 三浦 明輔(法文) スメンターター：関根 寛一(東大法文)	11:15 - 11:30	「1930年代ボーラントのスラブ民族的藝術の再燃復興 / 新羅藝術の躍進 — ブルガリアーデームズ・ブルガニア・シムカラ」 加藤 有子(法文新羅民族大学)
11:15 - 11:30	地図の形成 ・「ボヘミア」と「カノン」 — ポーランド版ブロディナの スラブ音楽人(ルドルフ・カーテー) 関根 寛一(東大法文) ・「ボヘミアの「歌のア」」 小嶋 謙(東大法文) ・「歌謡と歌曲のグレンツ: フルニア文学の歌謡より」 高村 隆志(法文スラブ・ヨーロッパ研究センター) スメンターター：高村 隆志(法文法系)	11:30 - 11:45	スメンターター：高橋 法樹(法文スラブ・ヨーロッパ研究センター)
11:30 - 11:45	総合討論	11:45 - 11:55	締め